

# 【 共 通 編 】

## 1 計画の範囲

### (1) 対象施設

本計画は、農地局が所管する農業水利施設（ため池含む）、農道、農業集落排水施設を対象とします。

なお、本計画では、これらの施設を便宜上、「農業水利施設等」と総称することとします。

### (2) 計画期間

計画期間は平成32年度（2020年度）までとします。

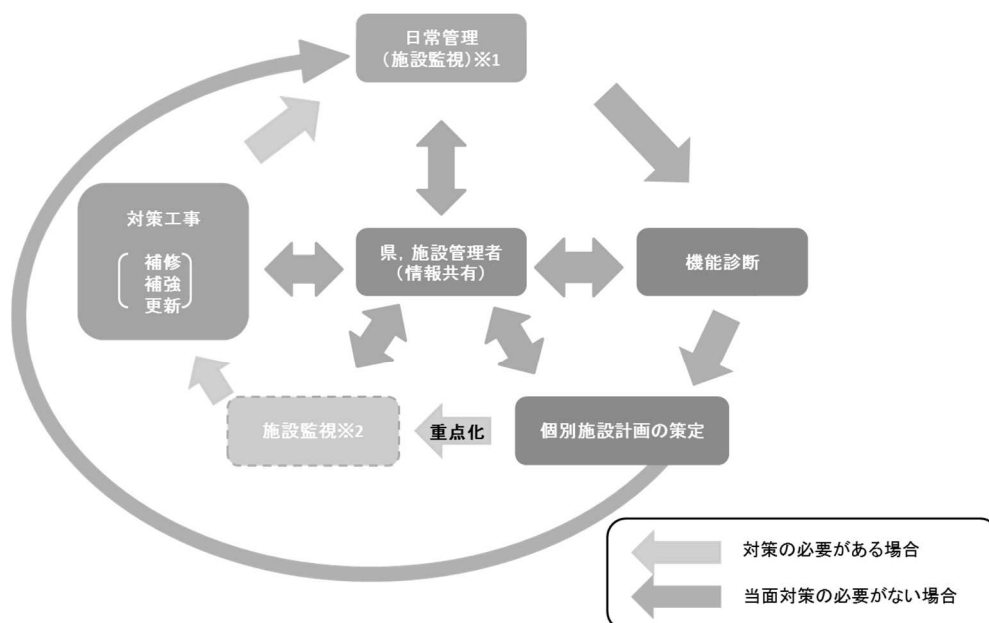
## 2 目指すべき姿（農業水利施設等の戦略的な保全管理）

ストックマネジメントにおける目指すべき姿とは、以下のストックマネジメントサイクルを確立し、農業水利施設等を長寿命化することにより、戦略的に保全管理することです。

- ① 日常管理による点検
- ② 定期的な機能診断
- ③ 診断結果に基づく劣化予測、効率的な対策工法の検討及び個別施設計画<sup>※</sup>の作成
- ④ 関係機関等との情報共有と適切な役割分担に基づく対策工事の実施
- ⑤ 調査・検討の結果、対策工事に係る情報の段階的・継続的な蓄積等に基づく対策手法の改善

ストックマネジメントサイクルの確立には、機能診断結果に基づき作成した個別施設計画をベースとしつつ、施設の機能を継続的に監視し、その監視結果も踏まえた弾力的な対策工事を適時適切に実施するとともに、点検、診断、監視及び対策の各段階における情報の蓄積を図り、その結果を点検や機能診断等に反映させていくことが重要です。

※個別施設計画：点検・診断結果をもとに、個別施設の状態、対策内容と時期、優先順位の考え方、対策費用等を示した計画。



※1 日常管理の一環として継続的に行う施設監視(結果は機能診断・個別施設計画策定等に活用)  
※2 個別施設計画の精度を高め、適期に対策工事を実施するために継続的に行う施設監視

図1 スtockマネジメントのサイクル

(「農業水利施設の機能保全の手引き (平成 27 年 5 月改訂)」を参考に作成)

### 3 現状と課題

農業水利施設等は市町村、土地改良区等により管理されていますが、施設の所有者、管理者並びに機能診断、補修及び更新を行う対策実施者(以下「対策実施者」という。)が異なる場合が多いため、これらの関係者が一丸となったライフサイクルコスト※低減に向けた取組や保全管理体制の構築が課題となっています。

また、必要なインフラ機能を維持するためには、一定の技術力を持った人材を確保することが不可欠です。今後、人口減少や少子高齢化が見込まれる中、これらの人材を確保することは難しくなっていますが、施設の点検・診断とこれに基づく補修・更新を継続的に行っていくストックマネジメントサイクルを確立するとともに、その実行に必要な人材及び体制を確保していかなければなりません。

※ライフサイクルコスト:施設の建設に要する経費に、供用期間中の運転、補修等の維持管理に要する経費及び廃棄に要する経費を合計した金額。

#### (1) これまでの取組の状況と課題

県ではこれまで、農業水利施設のうち県営事業で造成した末端支配面積100ha以上の基幹的施設について機能診断を実施する他、施設管理者による農業水利施設の施設監視の実施や農業集落排水施設の機能診断について促進してきました。

また、情報の蓄積については、基幹的農業水利施設について県域統合型GISに施設諸元や機能診断結果といった情報を蓄積し閲覧できるように整備しているほか、農業集落排水施設では、施設管理を委託された民間業者による点検補修データが蓄積されており、農道では施設管理者により農道台帳が毎年更新されています。

しかし、農業水利施設及び農業集落排水施設における個別施設計画策定の進捗は思わしくなく、取組の強化が求められています。

一方で、ため池では、点検方法等が確立していないため、点検・診断等が行われておらず、情報の蓄積や利活用に至っていないといった課題が残されています。

#### (2) 施設管理に係る技術者の人員状況および実施体制

市町村や土地改良区といった施設管理者においては、職員の技術力や数が不足している団体もあり、維持管理・更新等に支障を来す恐れがあります。このため、県や土地改良事業団体連合会の連携による支援が求められています。

また、県においては、本庁と出先機関の連携の強化が課題となっています。

## 4 施策の方向性

農業水利施設等の戦略的保全・管理に向けて、県域統合型GIS等を用いて、点検・診断結果など、蓄積したデータの可視化・共有を進め、施設管理者による個別施設計画の策定を推進します。

策定された個別施設計画に基づき、基幹施設から末端施設に至る施設の所有者、施設管理者、対策実施者等が一体となった長寿命化対策に取り組みます。

この際、これらの関係者間の情報共有を十分に図ることができるよう体制を強化するとともに、施設の維持管理・更新等に必要となる人材の育成や、機能診断の労力・コストの低減に資する新技術の導入を推進します。

### (1) スtockマネジメントサイクルの確立に向けて

#### ア 個別施設計画の策定

施設の維持管理・更新等に係るライフサイクルコストの縮減・平準化を図るには、点検・診断等の結果をもとに、取組の優先順位など個別施設毎の具体的な対応を示す「個別施設計画」を定め、計画的な取組を行うことが重要です。そのため、策定対象とする全ての施設において個別施設計画が策定されるよう、施設管理者への支援を強化していきます。

なお、災害時における施設機能確保のための耐震化については、今後、国の動向を注視しつつ検討を進めます。

#### イ 施設の点検および監視

施設の劣化や損傷は利用状況や自然環境等で異なるうえ、時々刻々と変化することから「点検→診断→監視→対策→(次の点検)」というストックマネジメントサイクルの確立には、損傷の発覚後や異常気象時などに実施している点検に加え、定期的な保守点検や個別施設計画に定められた施設監視を継続して行うことが前提となります。

そのため、施設管理者による適切な保守点検・施設監視が行われるようインフラ長寿命化に向けた推進体制を強化するなどして支援します。

#### ウ 情報の蓄積と利活用

ストックマネジメントサイクルを構築し、その取組を継続、発展させるためには、施設の諸元、利用状況や気象条件及び点検・診断や補修・更新等の履歴などの情報を確実に蓄積するとともに、分析していくことが重要であり、ストックマネジメントサイクルの確立へ利活用されるよう支援します。

## (2) インフラ長寿命化に向けた推進体制の強化

### ア 庁内体制

農業水利施設等の管理体制の強化及び機能保全に向けた各種施策を推進するため、農村計画課を核とする「インフラ長寿命化推進委員会」を設置し、施設種別毎に本県における長寿命化に関する取組の進行管理を行っていきます。

インフラ長寿命化推進委員会では、以下の取組を行っていきます。

- ・ストックマネジメントの普及啓発と各種施策の立案・実施・進行管理
- ・個別施設計画策定の支援および進行管理
- ・施設監視体制強化への支援
- ・計画的な対策工事の進行管理
- ・施設情報の一元化
- ・維持管理体制の強化支援 等

なお、必要に応じて、市町村や土地改良区といった施設管理者に対して協力を求めることとします。

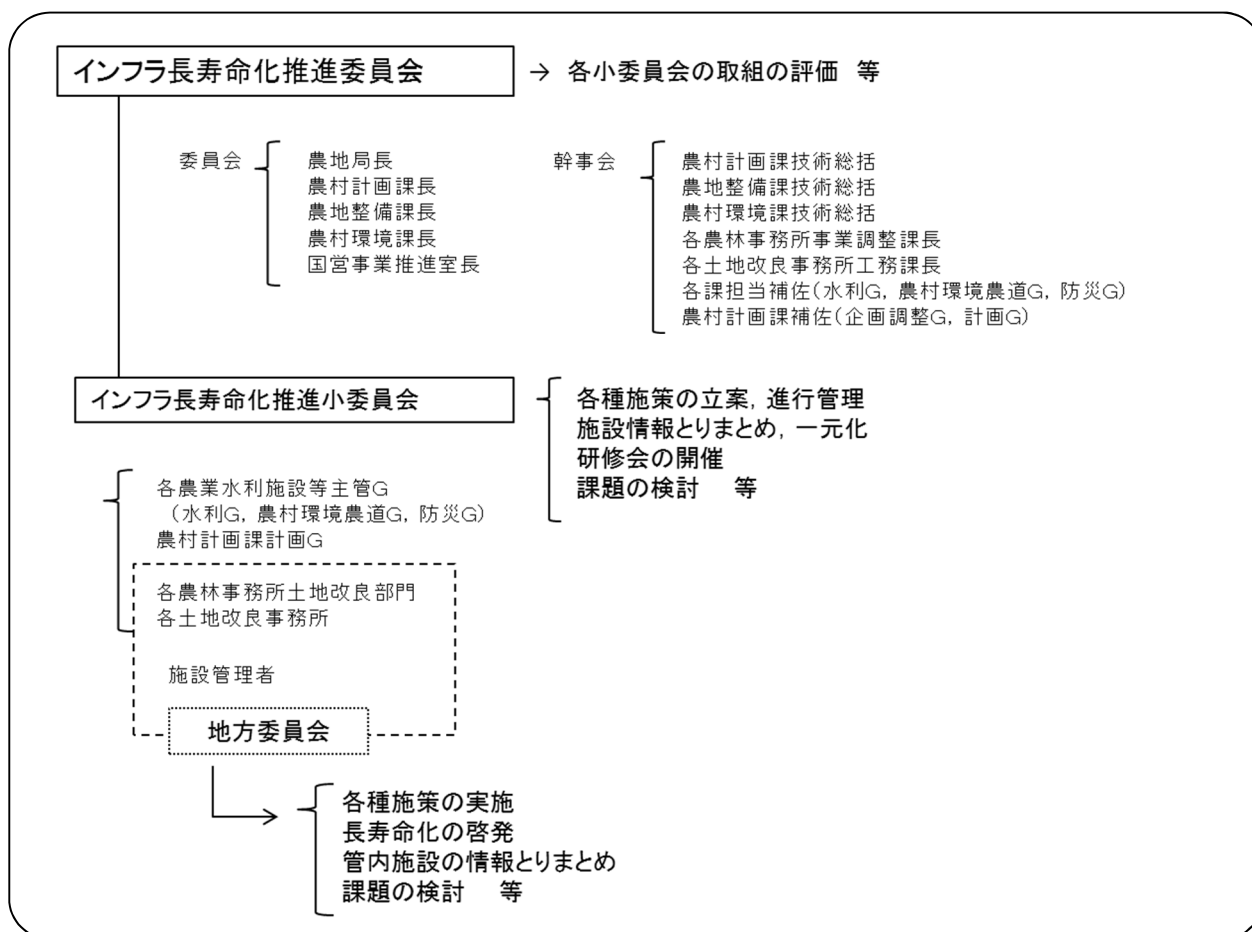


図2 庁内体制イメージ

## イ 土地改良事業団体連合会等と連携した施設管理者への支援

ストックマネジメントの取組を推進するためには、市町村や土地改良区といった施設管理者の維持管理体制を強化することが基本となります。そのため、行政や土地改良事業団体連合会、施設管理者が連携することで、地域の農業水利施設等の適切な維持管理体制を強化します。

具体的には、施設管理者による施設の日常管理や個別施設計画の策定、維持管理体制の強化等に対して、インフラ長寿命化推進委員会が技術的支援を行います。

支援に当たっては、農業水利施設等の長寿命化に関するノウハウをもっており、施設管理者である市町村や土地改良区が会員となっている土地改良事業団体連合会や、必要に応じて民間団体等と連携しながら進めていきます。

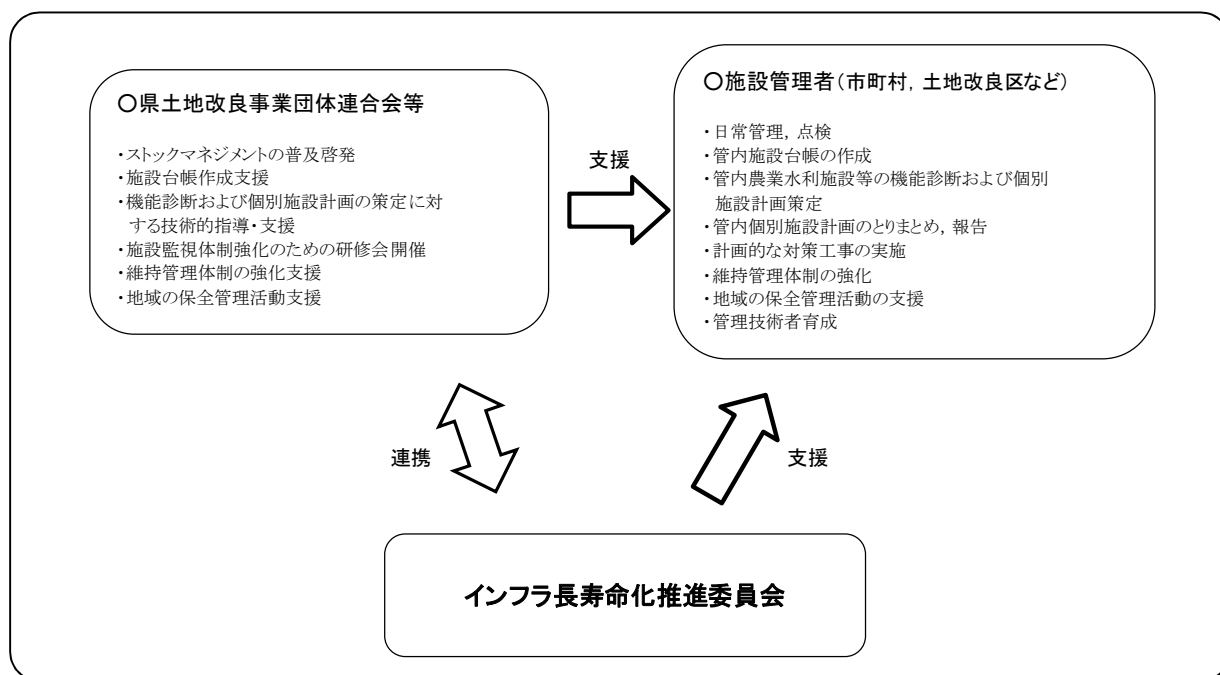


図3 土地改良事業団体連合会等と連携した施設管理者への支援イメージ

## ウ 人材育成

農業水利施設等を管理している市町村や土地改良区の職員等を対象として、日常の点検や機能診断、個別施設計画の策定など、ストックマネジメントの取組の考えを浸透させるとともに、施設管理能力を高めるため、インフラ長寿命化推進委員会による、日常点検や施設監視手法などの研修会を通して管理技術者の育成・技術力の向上を行います。また、施設管理者に対して、国や各種団体等が主催する研修会等への積極的な参加を促すほか、国からの情報や他県の優良事例など広く情報

提供に努めます。

さらに、県の職員を対象として、施設管理者に対して適切に指導・支援を行えるよう、研修会などを行い、ストックマネジメントに関する技術力向上を図ります。

また、関係団体と連携し、施設管理者や県の職員を対象として、農業水利施設機能総合診断士や農業水利施設補修工事品質管理士(コンクリート構造物分野)など、高度な専門知識を有する人材の育成を推進します。

## 5 フォローアップ

本計画の進捗状況を定期的に把握し、「インフラ長寿命化推進委員会」を中心として、進捗が遅れている施策については課題の整理や解決を図ります。

また、個別施設計画の策定状況や施設管理者による施設監視の実施状況等を踏まえ、適宜必要な見直しを行うこととし、内容の充実を図ります。